

第17回 下野市行政改革推進委員会 会議録

日 時 平成24年10月2日（火） 午後1時30分～3時30分
場 所 下野市保健福祉センターゆうゆう館会議室
出席委員 杉原弘修会長、飯島陽子委員、金子伸禄委員、高山忠則委員、田辺伸一委員、渡辺欣宥委員、関口博之委員、前原保彦委員
事務局 川端総合政策部長、塚原総合政策課長、星野主幹兼課長補佐、金田主幹、山内主幹、古口主査
傍聴者 なし

○次第

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 議事
 - (1)会議録署名人の指名
 - (2)第16回下野市行政改革推進委員会会議録の確認
 - (3)行政評価市民評価10事業選定について
 - (4)その他
- 4 閉会

○あいさつ

（杉原会長） 本日は市民評価の10事業を選定しますが、皆さんには事前に資料が配布してありますので、それぞれに考えて事業を選定してあるかと思えます。発表について、よろしくお願ひします。

○議事

(1) 会議録署名委員の指名

（杉原会長） 今回の会議録署名委員を指名します。名簿順で、今回は、飯島陽子委員と金子伸禄委員にお願いします。

(2) 第16回下野市行政改革推進委員会会議録の確認

（杉原会長） 事前に送付した前回の会議録については、修正の意見は無かったというのですが、この場で修正意見等があれば、発言をお願いします。

修正なしということで、このまま決定とします。

(3) 行政評価市民評価10事業選定について

（杉原会長） 行政評価市民評価について、事務局から説明をお願いします。

(事務局)

資料3に基づき説明

平成24年度の行政評価市民評価対象事業は、次の条件で事務事業評価全497事業から、161事業を抽出し、市民評価の対象事業としました。

- ① 総合計画後期基本計画に位置付けられている事業、その事業と明らかに直結的な事業
- ② 平成25年度の事業費（予算見込み額）が原則500万円以上の事業
- ③ 法令等で義務付けられている事業や政策的な判断を伴わないなど、市としての裁量の余地が少ない事業は対象外

選定方法は、事前に配付したこの一覧表の中から、各委員が10事業を選定していただいているかと思いますが、本日、それらを基に協議・検討して、10事業を決定します。

その際、選定にあたっては、一つの部署に極端に偏らないように配慮してください。

また、11月に開催される第1回市民評価でヒアリングの見本としますので、一事業は、総合政策部事業から選定していただきたく思います。

一覧表の見方についてですが、10列目の「事業終了予定年度」は、事業の実施期間が明確な事業については、その終了年度を記入し、継続的な事業等については、終了年度を『H99』と標記してあります。

15列目の「事業推進方針」は、行政評価市民評価ヒアリング資料の2枚目にある事業推進方針の3段階評価を省略して記入してあります。

一覧表の標記	行政評価市民評価ヒアリング資料での事業推進方針
積極的に推進する事業	積極的に推進する事業、または計画通り実施する事業
事業内容を見直す事業	事業内容を見直しながら実施する事業
当面実施しない事業	当面実施しない事業、または廃止・休止する事業

16列目の「市民評価実施年度」は、総合計画前期基本計画における市民評価において評価を受けた事業について、その年度を記入しています。以上です。

- (杉原会長) 市民評価のやり方について事務局から説明がありましたが、何か質問のある方はどうぞ。
- (金子委員) 市民評価の対象事業に、前にやっている事業も含めるのですか。
- (杉原会長) 市民評価の委員に新規の方もいるので、以前にやっても外すことはしなくてもいいのではないかと思います。
- (事務局) 一通り全ての抽出事業が対象となります。過去に評価をした事業についても、時間が経っているのです、その後、その事業がどのようになっているのかという見方もあるだろうということで、今回外す条件には入れませんでした。
- (杉原会長) 前に評価したものは外したということですか。
- (金子委員) そのつもりで考えていました。
- (杉原会長) 今回は、前に見た事業も含めるということでお願いします。
- (飯島委員) それでは、飯島委員から順番に選んできた事業を発表してください。総合政策部からも必ず選ばなくてはならないということですので、私は、今までに市民評価に選ばれていないものを主として、選ばせていただいたので、総合政策部では特にありません。
- 市民生活部で、20番の「ごみ減量化事業」です。
- ふれあい館、きらら館、ゆうゆう館がバラバラに出ているが、これを統一した方がいいと思います。わたしが思うには、ふれあい館はクローズして、きらら館とゆうゆう館のお風呂は残し、ゆうゆう館には露天風呂を造るということですが、どれか一つを対象にして、ほかのものもそれに絡めて話を伺えればいいと思いました。一応28番でお願いします。
- (総合政策部長) 事業費的にはゆうゆう館がいちばん大きいものですので、30番のゆうゆう館を選んでいただいて、似通ったほかの施設も同時に説明してもらおうように話したいと思います。
- (飯島委員) 産業振興部では、53番「施設管理費」と、新しい事業が出てきたので58番「石橋南部ほ場整備地区内集会施設建設事業」を伺いたいと思いました。それと、産業振興部に偏ってしましますが、66番「天平の花まつり開催事業」です。
- それから、建設水道部の69番「市道維持管理委託事業」は、事業内容を見直す事業となっているが、何がどういうふうになっているのか知りたいと思いました。
- 112番「太陽光発電施設整備事業」、教育委員会での授業への活用ということで、かなり予算を取っているのです内容を知りたいと思いました。
- それから138番「南河内図書館管理運営事業」、事業内容を見直す事業となっているが、事業費をかなり取っているのですお願いします。

11個目で申し訳ありませんが、149番「文化財展示収蔵施設整備推進事業」、25年度からの事業費が上げられているので選びました。以上です。

(杉原会長)

ありがとうございました。では続いて金子委員お願いします。

(金子委員)

委員会として10項目あればよいのかと思って、私としては特別10項目まで出なかったのですが。

(杉原会長)

それでも構いません。

(金子委員)

類似施設と言うことで、ふれあい館、きらら館、ゆうゆう館ですが、関連事業も説明してもらえるようですが、3つ一緒をお願いします。

(杉原会長)

28、30、32番とありますが、32番にしておきましょうか。

(金子委員)

できれば改修事業の方も一緒に説明してもらいたいのですが、どうでしょうか。これは一緒に取り上げてもらいたいと思います。

あと160番の「陸上競技場整備事業」です。以上です。

(杉原会長)

確認しますが、金子委員のふれあい館の事業は、管理事業か改修事業かはどちらですか。

(金子委員)

改修とは何をやるのかと思いますので、できれば全部一緒がいいのですが、それも無理でしょうから、管理事業で構いません。

(杉原会長)

それでは代表は32番ということでお願いします。

では、次に高山委員お願いします。

(高山委員)

総合政策部で1つということですが、上げるものはありません。

11番の市民生活部の「防犯灯推進管理事業」防犯灯がかなり傷んでいるところも見受けられるので、防犯上取り上げたいと思います。

18番「コミュニティ推進協議会運営事業」についてお願いします。補助金が出ているが、使い方が明白ではないところがありますので、どういうふうに使われているのか、どういうところに補助金を出しているのか、もう一度検討してもらいたいと思いますので取り上げます。次は20番「ごみ減量化事業」です。

それと30番、造った頃は温泉ブームがあったので利用も多かったが、最近では利用も少なくなってきたと思うので、これを再度見直していただきたいと思います。

50番「地域ブランド支援事業」、特別農作物生産規模拡大ということで、この地域はかんぴょう生産をアピールしているが、全国的にかんぴょうの消費がどれくらいあるのか、実際にかんぴょうを必要としているか、それによってはブランド品の考え方を変えた方がいいかと思っています。

59番「共通商品券発行事業」です。商工会でも関連して出しているが、新たに何かに使うのではなく、生活用品を買うなどに多く使われる傾向にあるので、今後継続していくために必要な事業か見直しを

検討した方がいいと思います。

67番「地域振興交流施設指定管理運営事業」、道の駅施設の維持管理をしていくのに、どのようなリスクが出てくるのか今後の課題になってくると思うのでお願いします。

101番「石綿セメント管更新事業」です。

140番「グリムの森等管理委託事業」、指定管理ということで別団体になっているが、今後どういうふうにしていくのか確認したいと思います。

最後に160番「陸上競技場整備事業」です。

(杉原会長) 続いて田辺委員お願いします。

(田辺委員) 総合政策部から4番「庁舎関連排水路整備事業」です。

5番「自転車駐輪場指定管理者施設運営事業」です。終了年度が未定であるため内容の確認も含めて選出しました。

26番「障がい者施設整備検討・建設」です。障がい者施設の建設には賛成ですが、行政がすべきかどうか判断材料として挙げてはどうかと思いました。

健康施設28から33番まででは、将来の方向性やあるべき姿、必要などころにお金をかけてはどうかと思います。事業費の多い29番「ふれあい館改修事業」にします。

35番「保育園共通事業」です。保育園の管理の一元化と費用対効果の面で挙げました。

54番「市単独農業農村整備事業」です。55番「県単独農業農村」との差がわかりませんでした。

69番「市道維持管理委託事業」です。

81番の「河川管理事業」です。

86番「公園の維持管理事業」です。以上です。

(杉原会長) 渡辺委員お願いします。

(渡辺委員) 1番「地域情報化推進事業」です。

市民生活部からは8番「市営墓地の造成事業」です。23年度の評価対象に入っていましたが、果たして必要なのかどうかの検証もできたらと思います。

健康福祉部から38番「学童保育室整備事業」です。現在の学校の状況をみて、学校の空き教室を利用してはどうかとの考えから挙げました。

建設水道部から80番「市道5157号線道路整備事業」です。国分寺西小学校は学校の統廃合の対象になっているため、必要性を検討してみたいかがでしょうか。

94番「石橋駅周辺土地区画整理事業」です。区画整理事業全般は、

今の下野市の人口増加状況から考えて、今後宅地造成の必要性を見直す時期にきているのではないのでしょうか。また、完了の予定年限から50年も経過しておりそれでもなお継続していることについて、考えを聞きたいと思います。

教育委員会からは132番「生涯学習センター管理運営事業」です。24年度と25年度の見込みを見ると、金額が増えているにもかかわらず事業内容を見直すのはどういうことかお聞きしたいです。

155番「南河内東部運動広場グラウンド整備事業」です。場所も含めて利用状況が分からないため挙げました。以上です。

(杉原会長)

続いて関口委員お願いします。

(関口委員)

項目を選ぶのに非常に難しいため、分野で選びました。

1つ目は、管理状況と予算の使い方の面から、28番から33番、きらら・ゆうゆう・ふれあい館に関する事業です。方向性は決まっているようだが、3館を比較して、どんな企画でどれくらいの予算でどのように運営されているか比べて検討したいと思います。

2つめは、生涯学習情報センターの下に4公民館を置き管理運営することを検討してはどうかという観点から、132番から137番の公民館に関する事業です。

3つめが140番「グリムの森等管理委託事業」です。文化課で管理するものなのか、67番「地域振興交流施設指定管理運営事業」の道の駅についても委託管理されているが、いろいろな管理部門を含めて考えるべきだと思います。

4つめは、地域に任せられる検討ができないかという面から86番「公園の維持管理事業」を選びました。その内容によっては、地域に委託ができていないか検討ができるのではないかと思います。

総合政策部からは、印刷物を整理できないかという観点から2番「広報発行事業」です。今、いかに市から出される印刷物が多いことか。本当にこの印刷物が必要なのか検討する必要があります。

教育委員会からは事業意図を絡めて、120番「児童生徒英語活動事業」です。予算の立て方として、この事業をやるのが好ましいとか好ましくないとかの判断でやるという考え方がおかしいと思います。

(杉原会長)

前原委員お願いします。

(前原委員)

141番「芸術文化事業」です。補助金団体の整理統合の進捗について説明していただければ、各団体の状況が明らかになると思い挙げました。44番「南河内児童館事業」です。遊びを通して子どもたちを育成するとあるが、児童館でのこういった遊び方を通して子供たちを育成するか議論したいと思います。

45番「配食サービス事業」です。お弁当を配達する業者の方が安否

確認をするわけですが、お年寄りの様子が果たして日々どこまで確認できているのか確認したいです。

28～33番の類似施設の統廃合です。現状でいくとふれあい館・ゆうゆう館・きらら館、それぞれを改修して継続していくということだが、そのままそれぞれを維持管理していくのかもう一度統廃合の確認をしたいと思います。また、公民館や図書館の継続維持とも含めて議論していくと分かりやすいと思います。以上です。

(杉原会長)

総合政策部からは1番「地域情報化推進事業」、事業意図からの具体的事業が知りたいです。

7番「消費者行政事業」について、来年度、国の活性化予算の交付が予定されているが、将来の見込みも含めてお聞きしたいと思います。

34番「こばと園事業」です。事業内容を見直すという方針だが、どこを見直すのか、重要な事業だと思いが見直すことに疑問があります。

35番「保育園共通事業」です。35番から37番では共通経費の一元化による合理化、効率化とあるが、3つの事業をまとめるのかどうか、一元化の中身を知りたいと思います。

39番から43番の保育園事業の中で、39番と40番は「積極的に推進する事業」であり、41番から43番は「事業内容を見直す事業」になっています。同じ事業意図を持っているにもかかわらず、事業推進方針に違いがある理由を知りたいと思います。

60番「商工業振興事業」では、経営基盤の強化を図るとあるが、具体的にどのような方法でどのような効果を見込んでいるのでしょうか。

86番「公園の維持管理事業」です。ほかの委員も挙げていました。

108番「奨学金貸付事業」です。推進する事業で事業意図に教育進展を図るとある割には、事業費が下がっています。

最後に151番「スポーツ振興事業」については、150番の保健体育総務事務事業」と経費の一元化が可能ではないか、もっと効率できないかという理由からあげました。以上です。

《 休 憩 》

(杉原会長)

皆さんの意見を聴いて事務局でコメントがありましたらお願いします。

(総合政策部長)

28番から33番までの温浴施設の管理事業と改修事業について、一般的に検証していくことは結構ですが、事業の推進について行政側の判断が妥当かどうかの判断をしていただき公表するため、事業については、関連の施設についても説明をするが、評価についてはいずれか一つを選んでいただき、市の評価の妥当性について評価いただくようお願いしたいと思います。改修事業も同様をお願いします。

事業費について、配布資料の中で25年度事業費がありますが事前評価になります。24年度の実業費は予算ベースですが、25年度事業費は担当課による要望額であり今後予算査定がありますので、現時点では流動的なものです。24年度と25年度の比較もありましたが、精度は低く動く可能性が高いことをご理解いただきたいと思います。類似施設の統廃合については、所管課での説明は全体的に行いますので、いずれかの事業を選定いただきますようご了解いただきたいと思います。

総合政策部の事業の4番「庁舎関連排水路整備事業」のようなハード事業については、比較的時間のやり取りが難しいため、考慮に入れて10事業の選定をお願いいたします。

(杉原会長)

10事業に絞っていききたいと思います。

総合政策部からは、意見の多かった1番「地域情報化推進事業」にいたします。

市民生活部は5番から23番までありますが、その中で多かったのは20番「ごみ減量化事業」です。そのほかにも1名ずつ取り上げた者もありますが、とりあえず20番にしたいと思います。

24番から49番まである健康福祉部では、ほとんどの委員が挙げている3館の事業になります。管理事業か改修事業かとの議論がありましたが、担当課からは3館全部についての説明が受けられるということです。市民評価の対象事業としては、管理事業で1事業、改修事業で1事業ということですので、28番「ふれあい館管理事業」と29番「ふれあい館改修事業」ということにします。

次は産業振興部50番から67番までです。多かったのは67番「地域振興交流施設指定管理運営事業」になります。よろしいでしょうか。その次は建設水道部68番から107番までで、多かった86番「公園の維持管理事業」になります。

教育委員会は108番から161番までで、多かったものは132番「生涯学習情報センター運営事業」、140番文化課の「グリムの森等管理委託事業」、160番スポーツ振興課の「陸上競技場整備事業」になります。

ここままで9つで、あと一つになります。

(飯島委員)

保育園事業が出ていないようですが。

(渡辺委員)

先ほど杉原先生が仰った39から43番までの事業から1つ選んではいかがでしょうか。

(杉原会長)

見直す事業の方が良いかと思しますので、41番「グリム保育園事業」でよろしいでしょうか。

- (総合政策部長) 教育委員会から160番「陸上競技場整備事業」については、市有地利活用により総合政策部で行っておりますが、現在のところ方向性が定まっております。どこにどのくらいの規模で創るかを今年度末までにまとめることになっており、現時点では企画の段階で詳細は未定です。実際に動き出すのも、まだ先になります。その辺も含めて事業を選定していただければと思っています。
- (杉原会長) 定まってからでは遅いというご意見も出ましたが、選ばれた理由は、事業費2億7千万円をどこに使うのかという理由で選ばれたのかと思います。確かにまだ事業が固まっていないのであれば、ヒアリングをしても意味がないことになります。
- (関口委員) 25年度予算を記載するのが早すぎたのでは。
- (総合政策部長) 合併特例債が平成27年度までであったものが延長されたため、慎重に議論したうえで検討することが必要になっています。
- (杉原会長) それでは160番については次年度以降にいたします。
- (前原委員) 150番「保健体育総務事務事業」が気になります。
- (杉原会長) 私も気になります。ほかの皆さんがよろしければ、150番で行きましょうか。では10事業揃いました。
- (関口委員) 資料の中に、事業意図で「事業を行わないことによる望ましくない状態」とあります。なぜこのような表現をしたのかお聞きします。
- (杉原会長) 確かに違和感がある表現ですが、事務局如何でしょうか。
- (事務局) この資料の基になっているのが事務事業評価497事業ですが、これを担当課で記入する際の設定欄に、この表現をする様式がありました。学校教育課では特にこの表現を使って記入したものと思われます。
- (関口委員) 131番「学校給食センター管理事業」を実施しなかった場合には、毎日子どもはお弁当を持ってくるのか、と疑問に思い質問しました。
- (杉原会長) 事業を行わなかったときはどうなのかということは、全く意味の無いことなので、「事業を行わないことにより望ましくない状態」とかの表現は外してもよいのではないのでしょうか。
- (渡辺委員) 67番の「地域振興交流施設指定管理運営事業」について、年間7千400万円かかっている事業ですが、道の駅は運営状況が大変いいと聞いたことがあります。一方で、66番「天平の花まつり開催事業」は1か月間で1,900万の金をかける事業をすることの妥当性について検討してもよろしいのではないかと思います。
- (高山委員) 道の駅に関係していますので補足します。建物の使用料を7,000万円位市に入れていますが、建物の維持管理費のみが3,700万円であり、実質的には市に建物使用料が差引かなりのお金が入っていますが、市への入金はこの資料に出てきていません。

- (関口委員) 道の駅などの第3セクターを市ではさらに利用するべきだと思います。
- (渡辺委員) 分かりました。認識できました。
- (杉原会長) いろいろな意見をありがとうございました。それではこれで10事業を確定させていただきます。

(4) その他

- (事務局) 今回で委員任期が満了するので、2年間の感想やご意見を委員の皆様一人ずつ発言していただきたいと思います。
- (金子委員) 行政改革は、中長期的に見れば市の職員の意識改革が大部分を占めるものと考え、職員提案制度について委員会でもかなりの時間を費やしてきました。前回の評価では、年間16～17提案でB評価であり、理解はしていただけなかったものと残念に思います。意識改革は重要であると同時に難しいところですが、よく検討していただきたいと思います。
- (前原委員) 職員提案制度は第1回目からも言っていることですが、まだまだ少ないです。また、補助金制度については、見直しに取り組んでいるはずですが、似たような団体がまだまだたくさんあり、数年前と団体数に変わりはありません。さらに、合併によって得られるメリットである類似施設の統廃合等の効果ですが、現状維持がまだ多く、その成果が見受けられないのが現状です。
- (関口委員) 予算についてですが、100万円の予算に対して90万円実績があると10万円未達成だったと市は考えています。事業が達成されて10万円余ればそれでよいと思います。事業の達成度を議論して、予算を余らせてもいい風潮に持って行ってもらいたいと思います。
- (飯島委員) 市のことを熱く思っている人がこんなに来てよかったと思っています。私が日頃感じていることは、皆さんも感じていることをいろいろな面で感じました。いろいろな意見を持っている人が市にはたくさんいるのに、発表できる場を市がもっと提供してもいいと感じました。
- (高山委員) ここで評価したことが、実際にどれだけ生かしているのかが分からないのです。商工会の立場からもなかなか改革ができないのが現状です。補助金をもらっている団体は、現状維持の意識が高く、甘えてしまっている団体が多いのではないのでしょうか。
- (杉原会長) 委員の意見は提言であり、提言を棚上げにすることは許されません。委員会での貴重な意見を職員が共有しないと意味がないと思います。市の職員全体が共有できるシステムを構築していくことを要望します。そういった体質づくりができれば浸透していくと思います。以上で本日の委員会は終了となります。

- (事務局) 委員の皆様は11月3日をもちまして任期満了となります。
新たな委員の選任事務について、公募の結果7名の応募があり、3名の委員の選任にいたっております。学識経験者として7名については今月中旬までには選任を完了する予定です。
- (総合政策部長) 職員の意識改革は行政改革を進めるうえでは最も大切な部分だと思います。職員提案については、今年度は各課のグループごとに必ず提案をするよう募りました。今後も増えるよう努力して参ります。
補助金につきましては、今年大幅な削減ができ、今後も定期的に見直しを進めていきたいと思っております。類似施設の統廃合については、現在ある施設を有効活用しながら、統廃合に馴染むものできるものから維持管理も考慮に入れて進めていきたいと考えています。予算については、事業目的別予算制度をとっており、限定して予算の無駄遣いはなくしているところです。また、市民の意見については、いきいきタウントークのほか、少人数でも可能な市長のランチトークも実施しておりますので利用してご意見をいただければと思います。
行政評価・市民評価の結果について、翌年度の予算編成に反映させられるよう今年度は時期を早めています。改革すべきところはたくさんありますが、委員のご意見を取り入れながら改善に向けて取り組んでいきますので今後もよろしくお願いたします。
2年間長い間たいへんお疲れ様でした。

以上